

1 級

— I

答案用紙

第1予想

平成 28 年度  
第143回 日商簿記試験対策  
**ラストスパート模試**

商業簿記・会计学

(午前9時開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第1予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (ココロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

商業簿記

貸借対照表

×8年3月31日現在

(単位:千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金預金		買掛金	
売掛金		未払金	
貸倒引当金	△	短期借入金	
商品		未払法人税等	
短期貸付金		未払費用	
貸倒引当金	△	資本金	700,000
為替予約		利益準備金	18,000
建物		繰越利益剰余金	
減価償却累計額	△	その他有価証券評価差額金	
車両			
減価償却累計額	△		
投資有価証券			
繰延税金資産			

※ 金額がマイナスとなる場合には、金額の前に「△」を記入すること。

損益計算書の金額

(単位:千円)

売上高		支払手数料	
当期商品仕入高		為替差損	
棚卸減耗損		売上割引	
見本品費		固定資産売却損	

受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第1予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日

氏名

×

(コピロトジル)

×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ②  
会 計 学

第1問

1		2		3	
4		5			

第2問

株主資本等変動計算書

(単位: 千円)

	株 主 資 本						新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本準備金	その他資本 剰余金	利益準備金	繰越利益 剰余金	自己株式		
当期首残高	5,000	800	700	300	3,000	△300		
会計方針の変更による累積的影響額								
遡及処理後当期首残高								
当期変動額								
新株予約権の行使								
剰余金の配当								
繰越利益剰余金による その他資本剰余金の填補								
当期純利益								
自己株式の取得								
自己株式の処分								
自己株式の消却								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計								
当期末残高								

株主資本等変動計算書の金額が減少となる場合には金額の前に「△」を記入し、合計または当期末残高がゼロとなる場合には「0」と記入すること。

第3問

(単位: 千円)

	前々期	前期	当期
完成工事高			
完成工事原価			
完成工事総利益			

**1 級**

— II

**答案用紙****第1予想**

平成 28 年度  
第143回 日商簿記試験対策  
**ラストスパート模試**

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会计学終了、休憩後開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第1予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (ココロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

**1 級 ③**  
**工業簿記**

問1

完 成 品 原 価	月 末 仕 掛 品 原 価	異 常 仕 損 費	標 準 原 価 差 異
円	円	円	円 ( )

直接材料費価格差異	直接材料費消費量差異
円 ( )	円 ( )

賃 率 差 異	作 業 時 間 差 異
円 ( )	円 ( )

製造間接費予算差異	製造間接費能率差異	操 業 度 差 異
円 ( )	円 ( )	円 ( )

問2

完 成 品 原 価	月 末 仕 掛 品 原 価	異 常 仕 損 費	標 準 原 価 差 異
円	円	円	円 ( )

問3

完 成 品 原 価	月 末 仕 掛 品 原 価	異 常 仕 損 費	標 準 原 価 差 異
円	円	円	円 ( )

受験  
番号

：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

平成28年度 ラストスパート模試・第1予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (ココヲトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ④

原 価 計 算

第 1 問

問 1

年間売上高	万円
税引後営業利益	万円
ネット・キャッシュ・フロー	万円

問 2

20X5年度末の差額キャッシュ・フロー	万円
20X6年度末から20X8年度末までの年々の差額キャッシュ・フロー (1年分)	万円
本投資案の正味現在価値	万円

問 3

20X5年度末の差額キャッシュ・フロー	万円
20X6年度末から20X8年度末までの年々の差額キャッシュ・フロー (1年分)	万円
本投資案の正味現在価値	万円

問 4

20X5年度末の差額キャッシュ・フロー	万円
20X6年度末から20X8年度末までの年々の差額キャッシュ・フロー (1年分)	万円
本投資案の正味現在価値	万円

第 2 問

①	万円	②	%	③	万円	④	万円
⑤	万円	⑥	万円				

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1 級

— I

答案用紙

第2予想

平成 28 年度  
第143回 日商簿記試験対策  
ラストスパート模試

商業簿記・会计学

(午前9時開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第2予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日

氏名

×

(コロボトジル)

×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

商業簿記

問1

本店損益勘定

(単位：千円)

仕入		A 商品売上	
棚卸減耗損		B 商品売上	
商品評価損		広島支店へ売上	
減価償却費		W支店へ売上	
貸倒引当金繰入		社債償還益	
販売・管理費		国庫補助金受贈益	
社債利息			
本店純利益			
繰延内部利益控除		本店純利益	
法人税、住民税及び事業税		広島支店	
法人税等調整額		W支店	
繰越利益剰余金		繰延内部利益戻入	

問2

本支店合併損益計算書の金額

(単位：千円)

売上高		減価償却費	
期首商品棚卸高		貸倒引当金繰入	
当期商品仕入高		販売・管理費	
期末商品棚卸高		為替差損	

本支店合併貸借対照表の金額

(単位：千円)

商品		繰延税金負債	
買掛金		圧縮積立金	



受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第2予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (ココロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

**1 級 ②**  
**会 計 学**

**第1問**

1		2	
4		5	

**第2問  
問1**

(単位：千円)

<u>損益計算書</u>	<u>貸借対照表</u>
×7年度	
税引前当期純利益	100,000
法人税、住民税及び事業税 ( )	I 流動資産
法人税等調整額 ( )	繰延税金資産 ( )
当期純利益 ( )	II 固定資産
	繰延税金資産 ( )

※ 法人税等調整額が貸方残高となる場合、数字の前に「△」を付すこと。

**問2 個別財務諸表上の各金額**

P社	S社
リース資産 <input style="width: 100px;" type="text"/> 千円	リース投資資産 <input style="width: 100px;" type="text"/> 千円
リース債務 <input style="width: 100px;" type="text"/> 千円	売上高 <input style="width: 100px;" type="text"/> 千円
減価償却費 <input style="width: 100px;" type="text"/> 千円	売上原価 <input style="width: 100px;" type="text"/> 千円

※ リース資産は減価償却累計額控除前の金額とし、リース債務には、長期のリース債務も含める。

**連結財務諸表上の会計処理**

連結会社間のリース取引は内部取引であるから、連結財務諸表上は相殺消去され、連結会社としては、リース物件を自己所有の固定資産として外部から購入し、使用する会計処理をすることになる。

したがって、連結貸借対照表上は、リース資産、リース債務、( )は消去され、機械装置( )千円、機械装置減価償却累計額( )千円が計上される。

また、連結損益計算書上は、売上高、売上原価、支払利息は消去され、減価償却費( )千円が計上される。

**第3問**

(単位：千円)

<u>連結キャッシュ・フロー計算書</u>	<u>連結キャッシュ・フロー計算書</u>
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	I 営業活動によるキャッシュ・フロー
営業収入 ( )	税金等調整前当期純利益 20,250
商品の仕入支出 ( )	減価償却費 ( )
人件費支出 ( )	のれん償却額 ( )
その他の営業支出 ( )	貸倒引当金の増減額 ( )
小 計 ( )	受取利息配当金 ( )
利息及び配当金の受取額 ( )	有価証券評価益 ( )
法人税等の支払額 ( )	有価証券売却益 ( )
営業活動によるキャッシュ・フロー ( )	売上債権の増減額 ( )
	棚卸資産の増減額 ( )
	仕入債務の増減額 ( )
	小 計 ( )

※ キャッシュ・フローの減少となる場合には、数字の前に「△」を付すこと。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1 級

— II

答案用紙

第2予想

平成 28 年度  
第143回 日商簿記試験対策  
ラストスパート模試

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会计学終了、休憩後開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第2 予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日

氏名

×

(コロボトジル)

×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ③

工業簿記

第1問  
問1

第1工程仕掛品

(単位：円)

月初仕掛品 ( )	完 成 品 ( )
原 料 A ( )	仕 損 品 評 価 額 ( )
加 工 費 ( )	異 常 仕 損 費 ( )
	月 末 仕 掛 品 ( )
( )	( )

問2

完 成 品 原 価	月 末 仕 掛 品 原 価	異 常 仕 損 費
円	円	円

問3

完 成 品 原 価	月 末 仕 掛 品 原 価	異 常 仕 損 費
円	円	円

問4

第2工程仕掛品

(単位：円)

月初仕掛品 ( )	完 成 品 ( )
前 工 程 費 ( )	月 末 仕 掛 品 ( )
原 料 B ( )	
加 工 費 ( )	
( )	( )

第2問

完 成 品 原 価	月 末 仕 掛 品 原 価
円	円

受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第2 予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (ココロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ④

原 価 計 算

問1

	個
--	---

問2

(1)		円/時
-----	--	-----

(2)		円/個
-----	--	-----

問3

	円/個
--	-----

問4

前期生産量		個
-------	--	---

当期生産量		個
-------	--	---

問5

(単位：万円)

	前期	当期	
売上高	(            )	(            )	
売上原価			
期首製品棚卸高	(            )	(            )	
当期製品製造原価	(            )	(            )	
合 計	(            )	(            )	
期末製品棚卸高	(            )	(            )	
差 引	(            )	(            )	
原価差異	(            )	(            )	(            )
売上総利益	(            )	(            )	(            )
販売費及び一般管理費	(            )	(            )	(            )
営業利益	(            )	(            )	(            )

問6

a	b	c	d	e

問7

	万円
--	----

問8

販売量		個
-----	--	---

売上高		万円
-----	--	----

1 級

— I

答案用紙

第3予想

平成 28 年度  
第143回 日商簿記試験対策  
ラストスパート模試

商業簿記・会计学

(午前9時開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第3予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日

氏名

×

(コゴフトジル)

×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

商業簿記

連結貸借対照表

×8年3月31日

(単位：千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金預金	337,930	買掛金	
売掛金		長期借入金	
商品		退職給付に係る負債	
繰延税金資産		繰延税金負債	
備品	132,000	その他負債	106,600
土地		貸倒引当金	
長期貸付金		資本金	
のれん		資本剰余金	
C社株式		利益剰余金	
その他資産	154,100	為替換算調整勘定	
		退職給付に係る調整累計額	
		非支配株主持分	

連結損益計算書

自×7年4月1日 至×8年3月31日

(単位：千円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売上原価		売上高	
販売費及び一般管理費	219,600	受取利息	
退職給付費用		受取配当金	
貸倒引当金繰入		持分法による投資利益	
減価償却費	16,500	為替差益	
のれん償却額		その他収益	15,600
支払利息		法人税等調整額	
法人税、住民税及び事業税	154,100		
非支配株主に帰属する当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益	175,693		

連結包括利益計算書 (単位：千円)

自×7年4月1日 至×8年3月31日

当期純利益	( )
その他の包括利益：	
為替換算調整勘定	( )
退職給付に係る調整額	( )
包括利益	( )
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	( )
非支配株主に係る包括利益	( )

受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第3予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (ココロツジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ②

会 計 学

第1問

1		2		3	
4		5			

第2問

(1) 市場販売目的のソフトウェアの経済価値は、将来の収益獲得にもとづくものと考えられるため、各年度の未償却残高が、翌期以降の見込販売収益の額を超過している場合には、その超過額について、一時の費用または損失として処理することが妥当である。当社で、にもとづく減価償却方法を採用した場合、第2年度末において  千円の超過額が生じることになる。

市場販売目的のソフトウェアについては、このように減損処理に類似した会計処理が規定されているため、固定資産の減損処理の対象資産からは除かれている。

(2) 見込販売数量にもとづく場合 (単位：千円)

	第1年度	第2年度	第3年度
販売収益	250,000	120,000	30,000
減価償却費			

(3) 見込販売収益にもとづく場合 (単位：千円)

	第1年度	第2年度	第3年度
販売収益	250,000	120,000	30,000
減価償却費			

(注) 上記減価償却費には、(1)の超過額に係る費用または損失を含める。

(4) 上記の計算結果を比較してみると、販売期間の経過に伴い販売価格が下落する性格を有するソフトウェアの場合、にもとづく減価償却方法を採用する方が、収益との合理的な対応が図れることがわかる。

第3問

<p style="text-align: center;"><u>貸借対照表</u></p> <p>X社 × 8年3月31日 (単位：円)</p>	<p style="text-align: center;"><u>貸借対照表</u></p> <p>N社 × 8年3月31日 (単位：円)</p>
投資有価証券 ( ) : 其他有価証券評価差額金 ( )	社 債 ( ) : 資本金 ( ) 資本準備金 ( ) : ( ) ( )

(1) 当期における1株当たり当期純利益は、普通株式に係る当期純利益を普通株式の期中平均株式数で除して算定する。N社の期中平均株式数は、株であり、1株当たり当期純利益は、円  銭である。

(注) 1株当たり当期純利益の計算は、2月を29日として1年を366日とする日割計算により行う。  
 なお、1株未満の端数が生じた場合、小数点以下第1位を四捨五入し、円未満の端数が生じた場合、小数点以下第3位を四捨五入する。

(2) 転換社債型新株予約権付社債が期首においてすべて転換されたと仮定された場合をもとに計算した潜在株式調整後1株当たり当期純利益は4円17銭であり、1株当たり当期純利益を下回っているため、株式の  化効果が生じることになる。これらは、投資家等の利害関係者に対して投資意思決定のための有用な情報を開示するために、財務諸表に注記する必要がある。

**1 級**

— II

**答案用紙****第3予想**

平成 28 年度  
第143回 日商簿記試験対策  
**ラストスパート模試**

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会计学終了、休憩後開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。





受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第3 予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日

氏名

×

(コゴロトジル)

×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ③

**工業簿記**

問1

材料消費価格差異	円 ( )
----------	-------

問2

賃率差異	円 ( )
------	-------

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

問3

仕掛品

(単位：円)

期首仕掛品 ( )	製 品 ( )
直接材料費 ( )	期末仕掛品 ( )
直接労務費 ( )	
製造間接費 3,000,000	
<u>9,480,000</u>	<u>9,480,000</u>

製品

(単位：円)

期首製品 ( )	売上原価 ( )
仕掛品 ( )	期末製品 ( )
<u>11,000,000</u>	<u>11,000,000</u>

	#104	#201	#202	#203
前期繰越	3,000,000		1,080,000	—
直接材料費	—		500,000	400,000
直接労務費	—	1,200,000		480,000
製造間接費	—		900,000	
合計	3,000,000			
備考	前期着手 前期完成 当期引渡	前期着手 当期完成 当期引渡	前期着手 当期完成 未引渡	当期着手 未完成

損益計算書

(単位：円)

製造原価報告書

(単位：円)

損益計算書		製造原価報告書	
I 売上高	13,200,000	1. 材料費	( )
II 売上原価		2. 労務費	( )
期首製品棚卸高	( )	3. 経費	<u>1,070,000</u>
当期製品製造原価	( )	合計	7,170,000
合計	( )	製造間接費配賦差異	( )
期末製品棚卸高	( )	当期総製造費用	( )
差引	( )	期首仕掛品原価	( )
原価差額	( ) ( )	合計	( )
売上総利益	5,170,000	期末仕掛品原価	( )
		当期製品製造原価	<u>( )</u>

受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・第3予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (コロボトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ④

原 価 計 算

第1問

問1

部品X製造部の直接労務費	千円
部品Y製造部の直接労務費	千円
固定製造間接費	千円

問2

	内製加工案	外注加工案	外部購入案
部品X直接材料費	千円	千円	千円
部品X直接労務費	千円	千円	千円
部品Y直接労務費	千円	千円	千円
部品X変動製造間接費	千円	千円	千円
部品X固定製造間接費	千円	千円	千円
外注加工賃	千円	千円	千円
材料発送費	千円	千円	千円
指導員派遣費	千円	千円	千円
部品X購入費	千円	千円	千円
関連原価合計	千円	千円	千円

問3

	個
--	---

問4

	内製加工案	外注加工案	外部購入案
関連原価合計	千円	千円	千円

第2問

問1

年間営業利益	千円
--------	----

問2

500個の製品Xの注文を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、(                    )千円だけ  
( 有利 ・ 不利 ) である。

(注)有利または不利については、不要な文字を二重線で消すこと(問3も同様)。

問3

325個の製品Yの注文を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、(                    )千円だけ  
( 有利 ・ 不利 ) である。

1 級

— I

答案用紙

ウラ予想

平成 28 年度  
第143回 日商簿記試験対策  
**ラストスパート模試**

商業簿記・会計学

(午前9時開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・ウラ予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (コゴフトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

商業簿記

損益計算書

自×7年4月1日 至×8年3月31日 (単位：千円)

I 売上高		
1	一般売上高	( )
2	割賦売上高	( )
3	積送品売上高	( )
4	未着品売上高	( ) ( )
II 売上原価		
1	期首商品棚卸高	( )
2	当期商品仕入高	( )
	合計	( )
3	期末商品棚卸高	( )
	差引	( )
4	棚卸減耗損	( ) ( )
	当期売上総利益	( )
	繰延割賦売上利益戻入	( )
	繰延割賦売上利益控除	( )
	売上総利益	( )
III 販売費及び一般管理費		
1	販売費・一般管理費	( )
2	貸倒引当金繰入	( )
3	減価償却費	( )
4	ソフトウェア償却	( )
5	退職給付費用	( )
6	のれん償却	( )
7	戻り商品損失	( ) ( )
	営業利益	( )
IV 営業外収益		
1	有価証券利息	( )
2	有価証券評価益	( ) ( )
	経常利益	( )
V 特別損失		
1	貸倒引当金繰入	( )
2	関係会社株式評価損	( )
3	減損損失	( ) ( )
	税引前当期純利益	( )
	法人税、住民税及び事業税	( )
	当期純利益	( )

貸借対照表の金額

(単位：千円)

建	物		退職給付引当金
の	れ	ん	

※ 建物は、減価償却累計額控除後の金額を記入すること。

受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・ウラ 予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (コゴロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

**1 級 ②**

**会 計 学**

第1問

1		2		3	
4		5			

第2問

決算整理後残高試算表

×8年3月31日

(単位：千円)

売買目的有価証券 (            )	繰延税金負債 (            )
その他有価証券 (            )	その他有価証券評価差額金 (            )
	有価証券評価損益 (            )
	(                      ) (            )

第3問

問1

連結財務諸表における段階取得に係る差損益          千円

連結財務諸表におけるX社に係るのれんの金額          千円

問2

個別財務諸表におけるY社株式の金額          千円

連結財務諸表におけるY社に係るのれんの金額          千円

※ 段階取得に係る差損、負ののれんの場合には、金額の前に△印を付すこと。

**1 級**

**— II**

**答案用紙**

**ウラ予想**

平成 28 年度  
第143回 日商簿記試験対策  
**ラストスパート模試**

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会计学終了、休憩後開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・ウラ予想

生年月日

第143回対策 答案用紙

氏名

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ③

×

(コロボトジル)

×

工業簿記

(注) 原価差異について、記入されない箇所には「-」を記入すること。

材料副費 (単位：万円)

引取費用 ( )	素 材 ( )
内部材料副費 ( )	間 接 経 費 ( )
材料副費配賦差異 ( )	材料副費配賦差異 ( )
( )	( )

製造間接費 (単位：万円)

間 接 材 料 費 ( )	仕 掛 品 ( )
間 接 労 務 費 ( )	製造間接費配賦差異 ( )
間 接 経 費 ( )	/
( )	( )

仕掛品 (単位：万円)

月初仕掛品 ( )	製 品 ( )
直接材料費 ( )	副 産 物 ( )
直接労務費 ( )	損 益 ( )
直接経費 ( )	月 末 仕 掛 品 ( )
製造間接費 ( )	/
( )	( )

製 品 (単位：万円)

月初製品 ( )	売 上 原 価 ( )
仕 掛 品 ( )	月 末 製 品 ( )
( )	( )

売上原価 (単位：万円)

製 品 ( )	月 次 損 益 ( )
材料副費配賦差異 ( )	材料副費配賦差異 ( )
賃 率 差 異 ( )	賃 率 差 異 ( )
製造間接費配賦差異 ( )	製造間接費配賦差異 ( )
( )	( )

営業利益	経常利益	税引前当期純利益
万円	万円	万円

受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度 ラストスパート模試・ウラ予想  
第143回対策 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (ココロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

**1 級 ④**  
**原 価 計 算**

第 1 問

(金額単位：万円)

問 1 予算実績比較損益分析表

	予算	当期実績	差異
売上高	( )	( )	( )
変動売上原価	( )	( )	( )
変動販売費	( )	( )	( )
貢献利益	( )	( )	( )
固定製造原価	( )	( )	( )
固定販売費	( )	( )	( )
一般管理費	( )	( )	( )
営業利益	( )	( )	( )

問 2 営業利益差異分析表

予算営業利益	( )
貢献利益差異	
(1)価格差異	( )
(2)販売数量差異	( )
固定費差異	( )
実際営業利益	( )

問 3

	価格差異	販売数量差異	合計
売上高	( )	( )	( )
変動売上原価	( )	( )	( )
変動販売費	( )	( )	( )
	( )	( )	( )

部門別差異分析表

	貢献利益差異	固定費差異	合計
販売部門	( )	( )	( )
製造部門	( )	( )	( )
管理部門	—	( )	( )
	( )	( )	( )

問 4

市場占有率差異 ( )                      市場総需要量差異 ( )

第 2 問

問 1

a	b	c	d	e	f

問 2

問 3

問 4